

(有) 石岡牧場が肉用牛経営で県内初の農場 HACCP 認証を取得

(一社) 岡山県畜産協会

(有)石岡牧場は、令和2年2月28日に、肉用牛経営として県内初の農場 HACCP 認証を取得しました。石岡牧場は、現在和牛繁殖牛約44頭と交雑種肥育牛約500頭飼育されています。

同牧場の石岡社長は、「平成13年のBSEの発生で牛肉価格が暴落し、精肉販売にも取り組んだ際、安全安心を確保するためには HACCP の取組が必要と考え、管理の見直しや、作業記録をつけてきた。しかし、当時は食品衛生の HACCP 制度しかなかったため、断念していたが、農場 HACCP 認証制度ができたことから、挑戦することを決意した。」とのことでした。

平成30年7月から、外部組織の畜産協会や津山家畜保健衛生所が支援し、毎月1回の農場 HACCP 推進会議を開催し、344工程の作業手順や記録の作成などに取り組み、約1年半という短期間で取得することができました。

石岡社長が、以前から HACCP の取組を視野に入れ日々対応をされてきたことが、早期の取得につながったと考えられます。

認証の取得によって、「注射針や動物用医薬品の残留が無いことのモニタリング方法やその検証方法が「見える化」されたことで出荷牛の安全性がより向上し、又、人・物・車の農場内の動線図を作成することで消毒場所を増設し病原微生物の侵入防止の強化にも繋がった。さらに、作業手順を作成することで、作業の効率化も図られている。」と牧場継承以来の念願が叶ったと大変喜んでおられます。

これを機に県内肉用牛経営で農場 HACCP の取組が増えることを期待したい。

